

松江市立天文台～3月の天文教室～

2014年3月12日

暗くなった空を見上げると、目立つ形のオリオン座や青白く光るおおいぬ座のシリウス、でもよく見ると彼ら冬の星たちが少し西に位置を変えているのがわかります。
そう、春はもうすぐです。

3月中旬午後8時頃の星



3月中旬の午後8時頃の星空です。
月や木星は3月12日の位置を表示していますが、見かけの大きさは異なります。
実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見てみましょう。



★今夜は月齢11

今夜の月は月齢11で、かに座で輝いています。

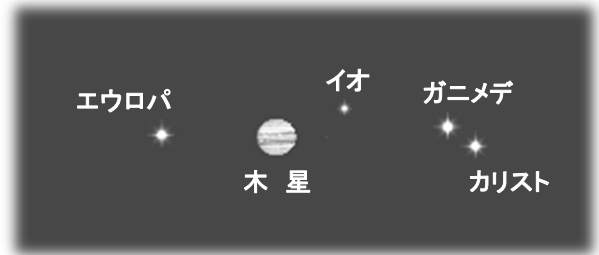
月は、地球から約38万キロの距離にある衛星で、その直径は、約3千500km、私たちに最も身近な天体です。

★木星

木星は、太陽系最大の惑星です。

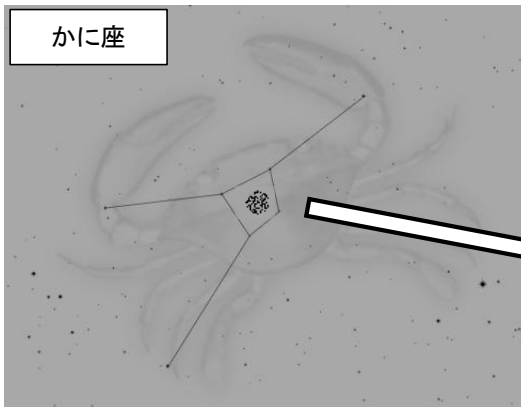
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)の位置を観察できます。

木星は5月の初め頃まで観察できます。



※月も木星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

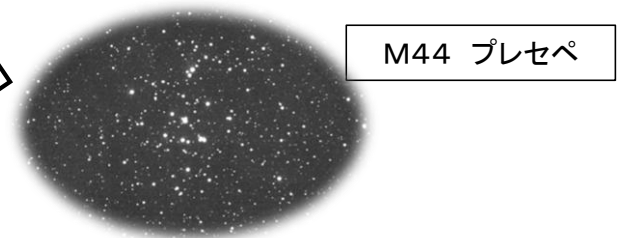
★かに座とM44



M44はかに座の中心付近に位置する散開星団で、510光年の距離にあります。

大きく広がっているので、天体望遠鏡より、むしろ低倍率の双眼鏡のほうが、その形を楽しめます。また、空の暗い場所では肉眼でも小さな雲のように見ることができます。

(距離は「天文年鑑」調べ)

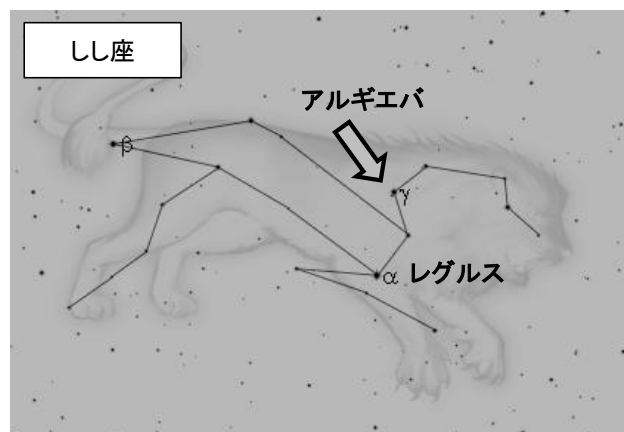


★しし座 γ 星(アルギエバ)

しし座の α 星レグルスからししの頭を描く星の並びが、西洋の大きな草刈りカマに似ていることから、ししの大がまと呼ばれます。

しし座の γ (ガンマ)星は、2等星で「ひたい」という意味のアルギエバという名前が付けられています。

この星は、ひとつの星に見えますが、天体望遠鏡で観察すると、2.6等と3.8等のふたつの星からなる、美しい二重星です。



次回の天文教室は

4月2日(水) 20時から21時(受付19時30分から)です。

